

議論の前提： 立場によって考えは異なる

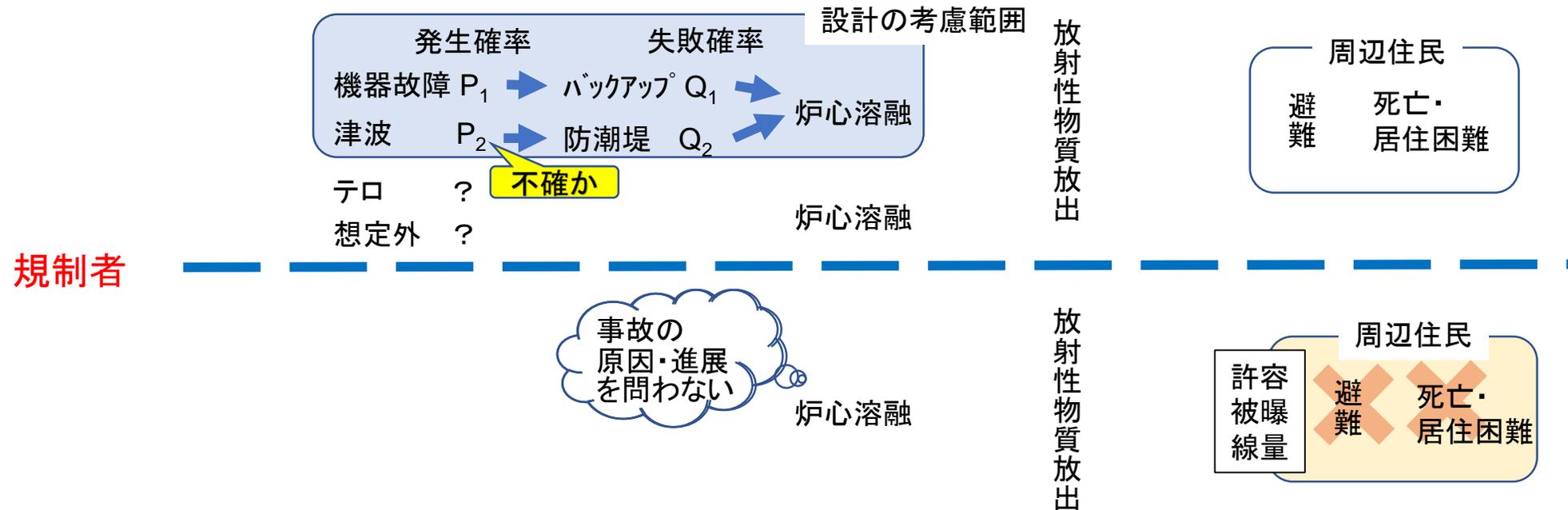
あなたは事業者、規制者、住民・国民？

事業者	規制者		住民・国民
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 制約条件がある (人、金、政治 etc.) (既設:多、 新設:少) ➤ 最適化が求められる ➤ 保有するデータに基づき最適な方法を判断するのは合理的 <p>例:RIDM</p>	審査 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 制約条件がない 例:信頼できるデータがなければ理論的極値を使う ➤ ダメならダメ 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 制約条件がない 例:安全側極値を求める (被ばくゼロ) 	
	検査 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 制約条件がある (人、金) ➤ 最適化が求められる <p>例:対象の重点化</p>		

「設計者視点の安全」と「周辺住民視点の安全」の違い

安全をリスクをベースに判断し、リスクを評価するために危険源を特定し、防護措置を取り、残留リスクを評価するということが確立されている。しかしこれは、設計者・専門家の視点からのものであり、かつ、リスクを正確に評価できないという問題がある。

設計者視点の安全: リスク=炉心溶融の発生確率 ($\sum P_i Q_i$) の最小化
制約条件: 人、金、政治 etc.



原子力発電所の周辺住民にとって、避難が不要／可能という結果が重要。その原因は問わない。

周辺住民視点の安全: 避難は不要／可能
制約条件なし